

京都市上京区

速水 雪乃

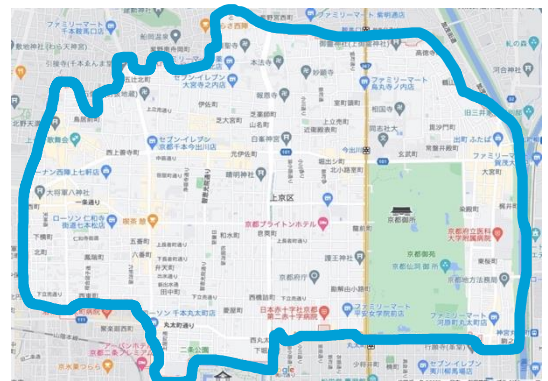
(2018 年度入学 鈴木ゼミ 2 期生)

1 はじめに

京都市は北区、上京区、左京区、中京区、東山区、山科区、下京区、南区、右京区、西京区、伏見区の 11 の区から構成されている。明治 22 年 4 月 1 日より市制が施行され、京都市が誕生した。当時の行政区は上京区と下京区のみであった。2 つの区は、平安時代末期頃から京都の町を南北に分けた上辺（かみわたり）、下辺（しもわたり）の表現が用いられるようになり、それが中世になって、大内裏（宮域）の南辺を東西に通ずる二条通を境として上町（かみのまち）、下町（しものまち）、あるいは上京、下京と呼ばれるようになったといわれている。その後、都市化が進むにつれて近郊を含んで膨張したため、その区域は次第に分割され、他の区が新設された。

2 上京区について

上京区は、京都市の中央部に位置する。東は鴨川（賀茂川）、西は紙屋川（天神川）、北は鞍馬口通、南は丸太町通までが上京区域である。文字だけでは分かりづらいが、南北で徒歩 45 分、東西で徒歩 1 時間ほど歩くと、区の端から端に着くくらいの広さである。（余談ではあるが、京都市にある区の中で、歴史が深い上京区と下京区が現在の面積ランキングでは 10 位、11 位となっている。）



歩いて回れる距離の地域の人口も気になるところだ。人口は現在約 82,535 人。昭和 35 年から平成 22 年までのグラフ及び、現在の人口を照らし合わせると、グラフの矢印で示してあるとおり、人口は徐々に減少し、横ばい傾向であることが見てとれる。平成 22 年と現在の人口とでは数百人の差しかなく、現在まで横ばい傾向が続いていることがわかる。また、世帯数はグラフにあるように増加しており、現在は 47,586 世帯と平成 22 年と比べて 4,000 世帯増加している。

私は初めこのグラフだけをみて、「子供のいる世帯が増加している。子育てに向い

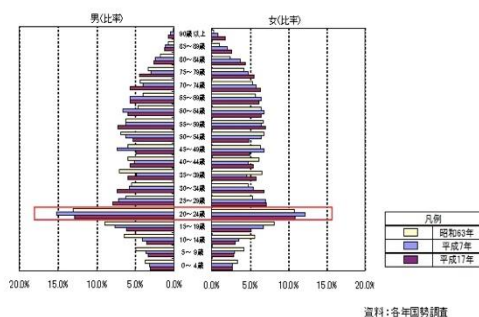
▶ 上京区の人口・世帯数の推移



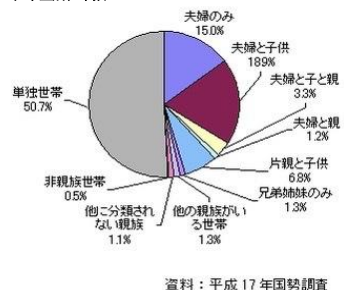
資料：各年国勢調査、平成 22 年は 9 月 1 日現在の推計値

ている地域という認識がされているのだろうか」と考えた。なぜなら、自身がこの地域で育つ中で、そのように考えられる点が多々あったからである。伝統文化に触れやすい、都会と田舎のちょうど中間のような環境で過ごしやすいなどである。そこで、小学校の数や児童数を調べると、地域の面積に対して児童数が 11 の区の中で三番目に多いことがわかった。しかし、年齢階層別人口と世帯型別世帯数のグラフが目に入った。年齢階層別では 20~24 歳の割合が多く、世帯としては単独世帯が半数を占めている。少なからず子育て環境による世帯数増加もあると思うが、実際は、大学生の町とされているように近辺の大学に通う学生の増加が影響していると考えられる。

▶ 年齢階層別人口割合



世帯型別世帯数



京都観光に訪れるとなると東山や嵐山方面などが人気のように思うが、上京区はこの狭めの区域に名所や名物が数多くあるにも関わらず、路地に入ると謎な静けさがあり、観光にもおすすめの地域である。

3 上京区の名所

京都御所や相国寺といった名所がいくつもある中で、上京区にある名所を 2 つ紹介する。

3.1 晴明神社

晴明神社は、平安時代中期の天文学者である安倍晴明公をお祀する神社である。創建は寛弘 4(1007)年で、晴明公の偉業をたたえた一条天皇の命により、その御霊を鎮めるために、晴明公の屋敷跡に建てられた。元は広大なものであったが、応仁の乱で戦火にさらされ、規模は縮小した。その後、式年祭の度に整備・改修が行われ、昭和 25 (1950) 年に現在の姿となった。晴明神社は、「魔除け」「厄除け」の神社である。

安倍晴明は、生前より人の悩みや苦しみを取り払うことで大きな信頼を得ていた。晴明公は、幼い頃より多くの道に秀でており、その中でも天文暦学の道を極めた。成人してからは天文陰陽博士として活躍し、天皇 6 代の側近を務めて数々の功績を立てた。唐に渡り、帰国後には受け継いだ神伝を元に

日本独自の陰陽道を確立した。日常生活の基準となる年中行事や暦術、占法は全てこの時に創られたものである。

3.2 小川通

小川通は堀川通から、一本東に入ったところにある南北の通りである。紫明通から錦小路通まで続く。寺之内通から北には裏千家と表千家のお家元である今日庵と不審庵、茶道具店、裏千家学園が並び、今出川通から南には、武者小路千家のお家元の官休庵がある。道が整備され、無電柱化で電柱もないため、すぐ近くに大通りがあるにも関わらず、静かで趣ある雰囲気が楽しめる。



4 おわりに

私は上京区という地域を知ってもらいたいと思い、私の好きな京都に選んだ。しかし、この地域で生きてきたことを誇りに思う反面、正直なところ、歴史ある神社などが生活に馴染みすぎて、当たり前の光景になっている。地域についての知識が浅いことを反省するとともに、ただ歩くことをやめ、存在を意識して行動していこうと思う。

<参考>

- ・ 京都市の歩み/
<https://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Publish/Booklet/2016/P02.pdf>
- ・ 上京区サイト/ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kamigyo/>
- ・ 世帯構成と地域活動の関係/
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kamigyo/page/0000097204.html>
- ・ テナントプラス/
<https://tenant-plus.com/contents/topics/京都市の小学校児童数から見る%E3%80%82ファミリー層に/>
- ・ 晴明神社/ <https://www.seimeijinja.jp/history/>
- ・ 京都を歩くアルバム/
<http://kyoto-albumwalking2.cocolog-nifty.com/blog/2018/02/post-930a.html>